

2023年2月期
決算説明会資料
2023年4月19日

PAL GROUP HOLDINGS

株式会社パルグループホールディングス 証券コード:2726

SMILE
IS
POWER.

社員と株主みんなの幸せのための経営



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

目次

財務報告 2

2023年2月期 決算概況 3

2024年2月期 業績見通し 14

経営ビジョン 16

トピックス 19

株主様への対応 27

ESGへの取組み 30



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

財務報告

2023年2月期 決算概況
2024年2月期 業績見通し



前期を振り返って

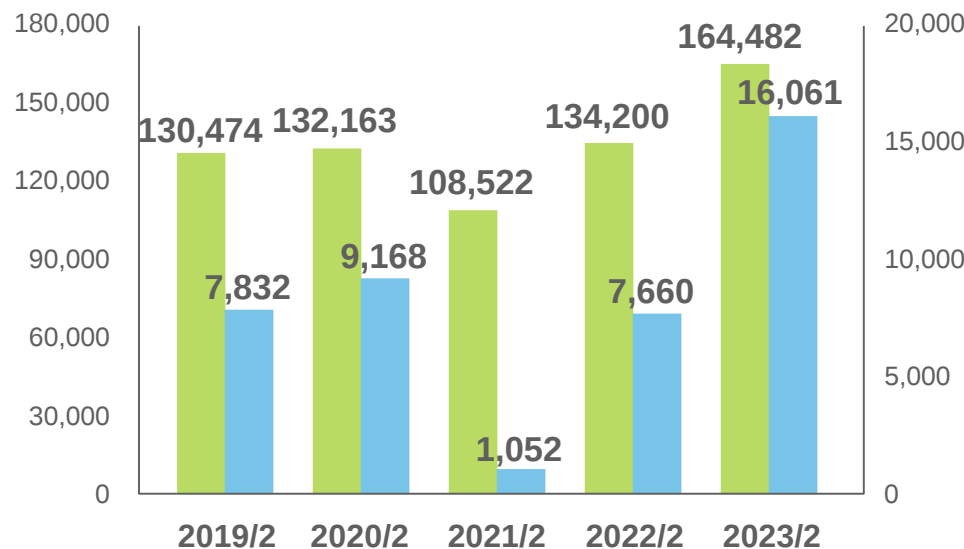
前期に於きましては、コロナ収束局面での個人消費の回復が想定以上であったことから、2度に渡り業績予想を上方修正することになりました。コロナ禍の中、非常に厳しかった衣料事業の店舗での売上が急回復し、ECでの売上げ増とも相俟って、コロナ前の水準を上回る過去最高の売上高を達成することが出来ました。雑貨事業においても、引き続き「3コインズ」事業が、純増110億円を超える成長を遂げており、その勢いは今期へ継続しております。

利益面でも、行動制限の解除が、衣料事業での店舗やECのプロパー販売を後押しする事となり、全ての利益項目で、過去最高益を記録しています。ただ、急速な円安や、コスト高の影響が、雑貨事業の利益を押し下げる結果となりました。円安水準も相当是正されて来ており、今期は、後半へ向けて回復基調と想定しています。

連結

■ 売上高 ■ 経常利益

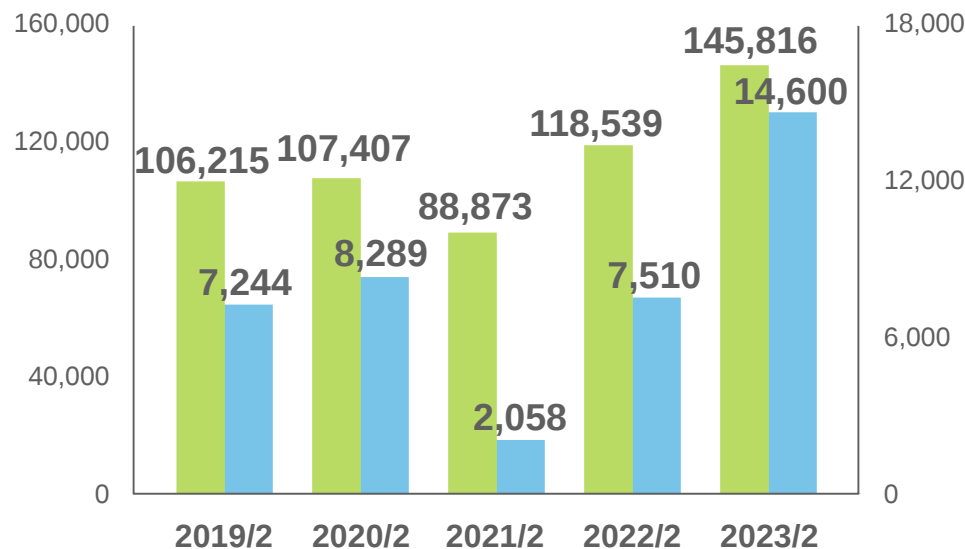
単位:百万円



(株)パルグループホールディングス単体 + (株)パル

■ 売上高 ■ 経常利益

単位:百万円



2023年2月期 (株)パルグループホールディングス連結損益状況

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2020年2月期	2022年2月期	2023年2月期			
			公表値	実績	前年比	公表値比
売上高	132,163	134,200	160,000	164,482	122.6%	102.8%
売上総利益	74,386	74,314	88,000	90,221	121.4%	102.5%
(売上比)	56.3%	55.4%	55.0%	54.9%	▲0.5%	▲0.1%
営業利益	9,067	7,520	13,700	15,822	210.4%	115.5%
(売上比)	6.9%	5.6%	8.6%	9.6%	4.0%	1.0%
経常利益	9,168	7,660	13,950	16,061	209.7%	115.1%
(売上比)	6.9%	5.7%	8.7%	9.8%	4.1%	1.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,028	4,001	8,650	9,955	248.8%	115.1%
(売上比)	5.3%	3.0%	5.4%	6.1%	3.1%	0.7%

- (株)パル及び(株)ナイスクラブでは、過去最高の売上高、利益を上げており、(株)ノーリーズも、業績を急回復させた結果、当社では、初めて100億円台の利益水準をクリアする事が出来ました。
- 短サイクルの4週間MDを徹底することで、需要予測の精度をあげ、無駄な在庫を作らない・持たない経営方針が全社で浸透して来た結果であり、パル流のサステナブルな事業モデルと考えています。

単位:百万円

	2020年2月期	2022年2月期	2023年2月期			
			公表値	実績	前年比	公表値比
売上高	107,407	118,539	138,500	145,816	123.0%	105.3%
売上総利益	61,310	66,229	78,700	80,383	121.4%	102.1%
(売上比)	57.1%	55.9%	56.8%	55.1%	▲0.8%	▲1.7%
営業利益	8,321	7,296	12,700	14,529	199.1%	114.4%
(売上比)	7.8%	6.2%	9.2%	10.0%	3.8%	0.8%
経常利益	8,289	7,510	12,660	14,600	194.4%	115.3%
(売上比)	7.7%	6.3%	9.1%	10.0%	3.7%	0.9%
当期純利益	7,000	4,230	7,850	9,316	220.2%	118.7%
(売上比)	6.5%	3.6%	5.7%	6.4%	2.8%	0.7%

- (株)パルの衣料事業で50近くあるブランドのほとんどが、前年を大きく上回る売上を上げる結果となり、コロナ前2019年度との比較でも、カジュアル系のブランドでは、前期の期初から上回る状況で、更に、10月以降の行動制限の緩和により、コロナ禍で最も厳しかったタウン系(ドレスアップ系)のブランドの売上でも、底打ちを確認することが出来ました。
- 昨年来、絶好調を維持しています「3コインズ事業」は、引き続き、大型店「3コインズ+(プラス)」の新規出店の引き合いが継続しており、既存店でも売上を大きく伸ばしています。為替環境の好転が、今期以降の利益環境にプラスに働くものと推察しております。

単位:百万円

	2020年2月期 実績	2022年2月期 実績	2023年2月期 実績	前年比
売上高	15,862	12,843	15,460	120.3%
営業利益	815	227	742	326.9%
経常利益	835	255	756	296.5%
当期純利益	654	▲155	497	-----

- 22年度は、コロナで落ちた21年度売上を大きく超え、過去最高売上の19年度に近づけることができました。基幹ブランドの「one after another NICECLAUP」は、19年度既存比101.7%で終了できております。
- 店舗大型化とSNS個人アカウント強化は、引き続き次年度においても、最重要事項として推し進めてまいります。SNS個人アカウントフォロワーの総数は22年度末、86万フォロワーを超えました。23年度は、フォロワー総数200万人を目標に強化を継続します。
- 23年2月期をもって、赤字が続いていたブランド「OUVRAGE CLASSE」を廃止し、新たな大人向けブランドとして、「LARUTA」をスタートさせました。
- サステナブル関連では、3DCGを使用したサンプルの削減やインドオーガニックコットンを使用した学業支援も積極的に取り組んでいきます。

セグメント別売上高実績及びEC売上高の状況

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

		2020年2月期	2022年2月期	2023年2月期	前年比
衣料	売上高	97,102	87,109	105,781	121.4%
	構成比	73.5%	64.9%	64.3%	▲0.6%
	営業利益	6,701	3,354	12,516	373.2%
	営業利益率	6.9%	3.9%	11.8%	7.9%
雑 貨	売上高	34,968	46,997	58,559	124.6%
	構成比	26.5%	35.0%	35.6%	0.6%
	営業利益	2,329	4,176	3,285	▲21.3%
	営業利益率	6.7%	8.9%	5.6%	▲3.3%
その他	売上高	92	93	141	151.6%
		2020年2月期	2022年2月期	2023年2月期	前年比
EC売上高	ZOZO TOWN	11,340	17,424	22,280	127.9%
	自社PALCLOSET	4,168	11,554	15,631	135.3%
	その他	2,082	3,911	4,405	112.6%
	合計	17,591	32,889	42,316	128.7%
	対衣料売上高比率	18.1%	37.8%	40.0%	2.2P

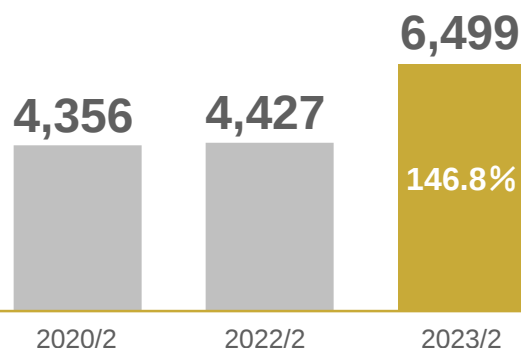
- 衣料事業が牽引役となり、売上高、利益の両面で、業績を大きく回復させることになりました。
- EC売上は好調を維持しており、今期は、売上高で500億円超を、アプリ会員は、1,000万人獲得を目指しています。

主なブランド

PAL GROUP HOLDINGS

売上高

単位:百万円



Kastane

アメリカンクラシックをベースとし、
世代・性別を超えたリアルスタイルの提案。
今の気分をmixしたマイスタイルの発見。

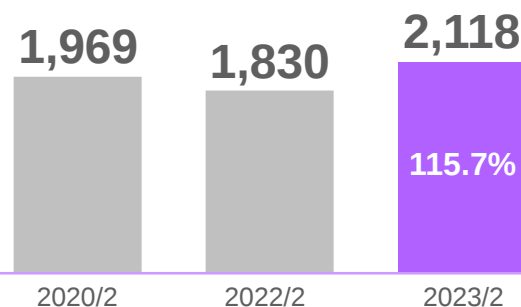
カスタネ

店舗数 26店舗



売上高

単位:百万円



Lui's

モテる男のワードローブをテーマに
モード&ストリートのMIXコーディネート提案。
着心地、カッティング、素材感を重視した商品を
国内外問わず編集し発信していく。

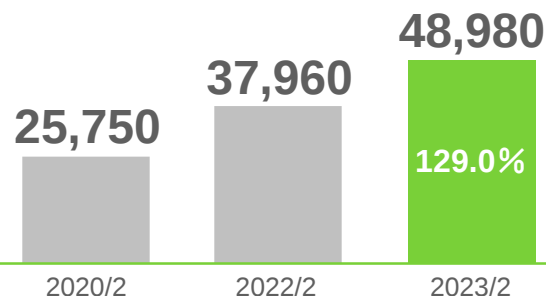
ルイス

店舗数 12店舗



売上高

単位:百万円



3COINS

ベーシックな生活雑貨から、
空間を彩るインテリア雑貨など幅広いラインナップと、
つい手に取りたくなるデザイン性のある商品たち…
いつ行っても新しい発見がある「3COINS」は、
あなたの“ちょっと幸せ”をお手伝いする雑貨店です。
生活雑貨・インテリア雑貨・服飾雑貨・モバイルアイテム・
キッズアイテムなど、様々なアイテムを300円を中心に、
幅広く取り揃えています。

3コインズ

店舗数 268店舗



販売費及び一般管理費

PAL GROUP HOLDINGS

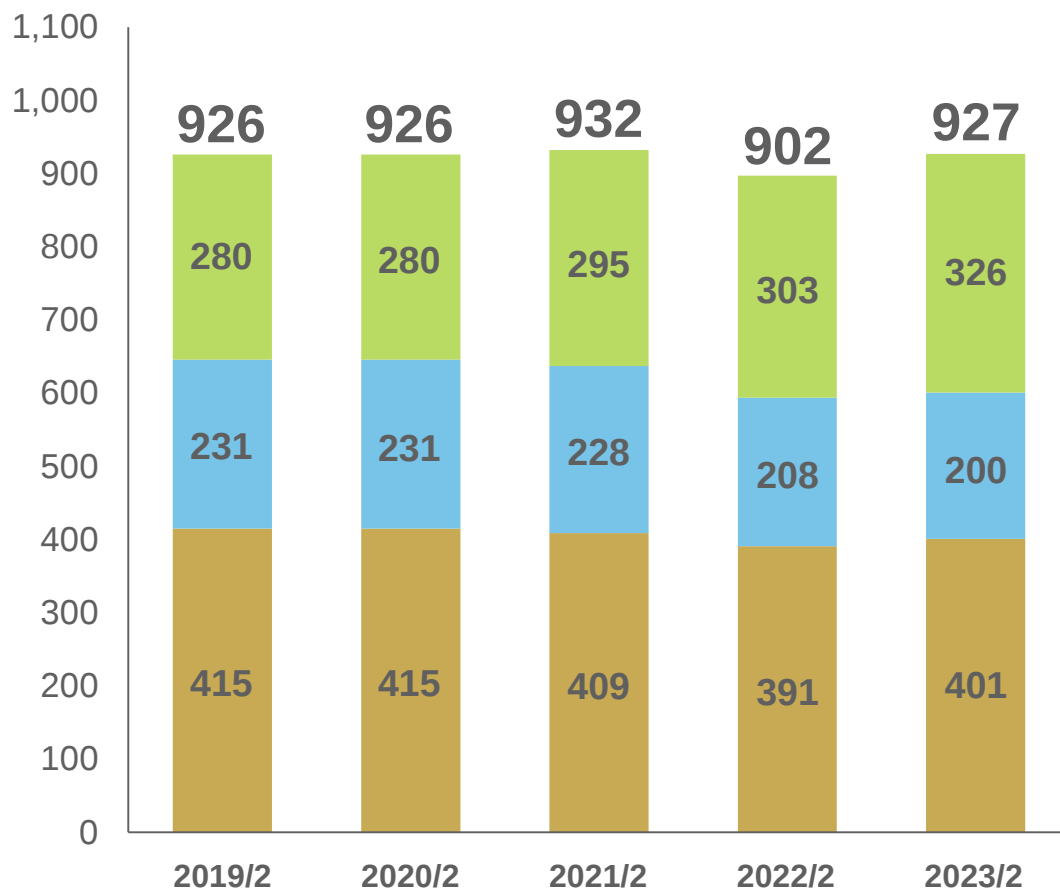
単位:百万円

	2020年2月期	2022年2月期	2023年2月期	前年比
(株) パルグループホールディングス単体 + (株) パル	52,989	58,933	65,853	111.7%
連結	65,319	66,793	74,399	111.4%
販管費比率(連結ベース)	49.4%	49.8%	45.2%	▲4.6P
人件費比率	18.5%	17.6%	16.4%	▲1.2P
賃料比率	15.1%	13.0%	12.0%	▲1.0P
広告宣伝費比率	1.3%	2.5%	0.9%	▲1.6P

- 売上高の伸張や、主要な項目で経費の削減が出来たことより、販管費率は大きく低下しました。人件費に於いては、派遣や、時間外労働の大幅削減により低下、賃料も、好調な3コインズが牽引する形で引き下げが出来てきており、広告宣伝費においては、慎重な運用の効果から、削減出来るに至りました。

期末店舗数927店舗 (前期末比25店舗増)

■ その他地方
■ 関西圏
■ 関東圏



● 出店状況

当期の新規出店は92店舗、退店は67店舗となり、純増25店舗となりました。

衣料事業での新規出店は、37店舗、退店は60店舗の、純減23店舗となりました。

ブランド別では、大型化を推進中のDiscoatで8店舗減と、小型既存店の閉店を推進、また、3ブランドのスクラップにより、計8店舗から撤退した。

一方で、雑貨事業の新規出店は55店舗、退店は7店舗の、純増48店舗となりました。

中でも、3コインズが38店舗増と、大きく伸長しています。

特別損益

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2020年2月期	2022年2月期	2023年2月期
固定資産売却益	—	270	—
ゴルフ会員権売却益	—	1	—
特別利益合計	—	272	—
固定資産除却損	162	202	30
リース解約損	3	—	—
減損損失	387	1,659	801
関係会社株式売却損	10	—	—
特別損失合計	564	1,862	831

- コロナ禍の影響を分析し、ブランドの絞り込みによるスクラップを前倒ししたこと、また、大型化を推進するブランドの小型既存店を整理するなど、店舗の適正な構成に向けた再編に取り組んだ結果、減損損失が801百万円となりました。

連結貸借対照表

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2020年2月期	2022年2月期	2023年2月期	前期末比増減	備考
流動資産	67,842	69,859	85,496	15,637	
現金及び預金	52,727	52,250	63,845	11,595	
売掛金	6,435	6,342	8,554	2,212	
たな卸資産	7,847	10,766	12,542	1,776	
その他	830	500	554	54	
固定資産	27,112	23,868	27,014	3,147	
有形固定資産	7,780	6,608	9,120	2,512	
無形固定資産	690	467	333	▲134	
投資その他の資産	18,641	16,792	17,561	769	
資産合計	94,954	93,728	112,510	18,782	
流動負債	36,004	36,334	43,237	6,903	
固定負債	12,323	10,004	14,082	4,078	
負債合計	48,327	46,339	57,319	10,980	
純資産合計	46,627	47,389	55,191	7,803	自己資本比率 49.0%
負債純資産合計	94,954	93,728	112,510	18,782	

連結キャッシュ・フロー計算書

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

	2020年2月期	2022年2月期	2023年2月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,705	7,970	17,029
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲3,543	▲679	▲2,599
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲4,068	▲18,128	▲2,835
現金及び現金同等物の増加(減少)額	7,094	▲10,838	11,595
現金及び現金同等物の期首残高	45,633	63,088	52,250
現金及び現金同等物の期末残高	52,727	52,250	63,845

- 売上が好調により、営業活動によるCFが大きく増加し、コロナ禍で緊急対応として手当した短期借入れ等も、前期で一括返済したことで、財務活動によるCFも大幅に改善、期末の現金同等物の残高が100億円超増加する結果となりました。

2024年2月期 連結・(株)パルグループホールディングス単体＋(株)パル業績の見通し

PAL GROUP HOLDINGS

単位:百万円

1. 連結

	2020年2月期	2022年2月期	2023年2月期	2024年上期	2024年下期	2024年2月期	前年比
売上高	132,163	134,200	164,482	87,090	90,130	177,220	107.7%
売上総利益	74,386	74,314	90,221	47,780	49,340	97,120	107.6%
販売管理費	65,319	66,793	74,399	39,830	40,670	80,500	108.2%
営業利益	9,067	7,520	15,822	7,950	8,670	16,620	105.0%
経常利益	9,168	7,660	16,061	7,960	8,760	16,720	104.1%
特別損益	▲564	▲1,590	▲831	▲400	▲400	▲800	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,028	4,001	9,955	4,930	5,450	10,380	104.3%
粗利率	56.3%	55.4%	54.9%	54.9%	54.7%	54.8%	▲0.1P

2. (株)パルグループホールディングス単体＋(株)パル

	2020年2月期	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期	前年比
売上高	107,407	118,539	145,816	155,421	106.6%
売上総利益	61,310	66,229	80,383	85,712	106.6%
販売管理費	52,989	58,933	65,853	70,439	107.0%
営業利益	8,321	7,296	14,529	15,273	105.1%
経常利益	8,289	7,510	14,600	15,056	103.1%
特別損益	▲193	▲1,647	▲826	▲700	—
当期純利益	7,000	4,230	9,316	9,330	100.2%
粗利率	57.1%	55.9%	55.1%	55.1%	—

- 衣料事業でのタウン系ブランドの回復と、3 Coins 事業の好調が牽引して、売上高も確りと増加すると想定。利益面では、雑貨事業が急激な円安の修正過程で、回復基調へ戻ると見込みます。

2024年2月期 業績見通しの前提

1. 店舗数の状況

	2020年2月期	2022年2月期	2023年2月期	2024年2月期 (現時点の確定数)
新規店舗数	48	47	92	59
退店店舗数	48	77	67	17
店舗数純増	0	△30	25	42
期末店舗数	926	902	927	969

2. 既存店売上の状況（パルグループ各社の合計）

	2020年2月期	2022年2月期	2023年2月期 上期累計実績	2023年2月期 下期累計実績	2023年2月期 通期実績	2024年2月期 通期見通し
既存店売上推移	100.1	136.0	121.6	118.2	120.0	105.0
うち小売既存店売上高	98.2	164.3	117.7	115.3	116.5	101.0
うちネット通販既存店売上高	114.0	132.5	130.1	127.4	128.8	120.0

	2020年 3月	2022年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月
既存店売上推移	69.1	111.1	121.9	140.8	117.2	114.9	127.0	118.7	118.7	113.1	110.4	122.8	125.7
うち小売既存店売上高	66.1	104.0	121.3	134.8	112.4	106.3	122.9	115.6	114.1	105.7	107.1	123.2	125.9
うちネット通販既存店売上高	101.9	139.9	123.2	116.5	127.9	139.4	137.1	128.9	133.8	136.7	120.3	122.0	125.4

3. 全店売上の状況

	2020年 3月	2022年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 1月	2月	通期
全店売上	71.7	113.7	125.5	151.6	123.3	119.5	132.2	123.8	124.4	121.1	116.9	131.8	137.7	126.4
うちEC	98.8	142.6	125.8	118.8	127.7	138.9	136.5	129.0	131.0	131.6	118.7	121.3	126.2	128.9

4. 客数、客単価の推移

	客単価前々年比	客数前々年比
衣料事業	106.4%	113.7%
雑貨事業	104.2%	120.2%

SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

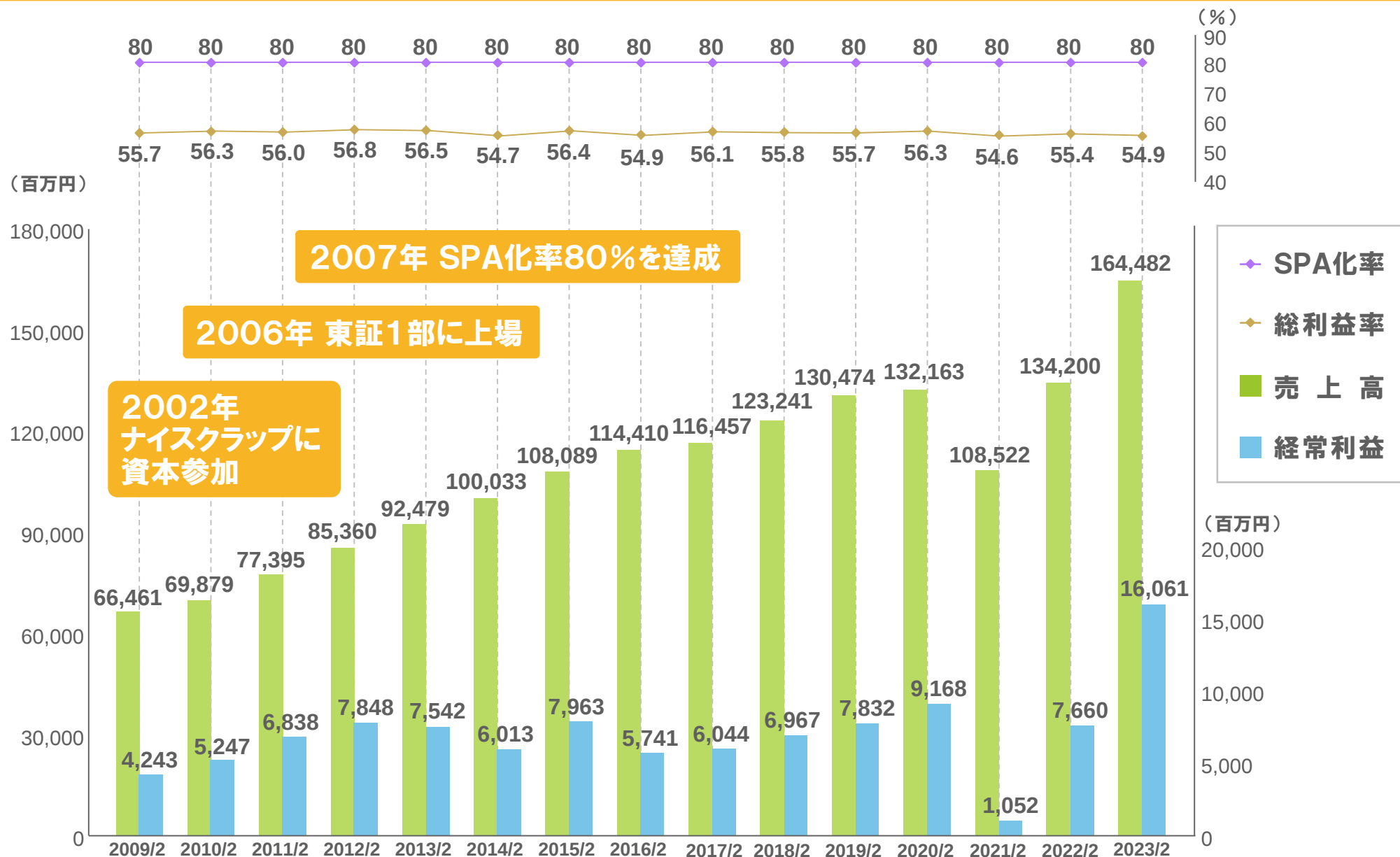
経営ビジョン

業績推移
中長期ビジョン



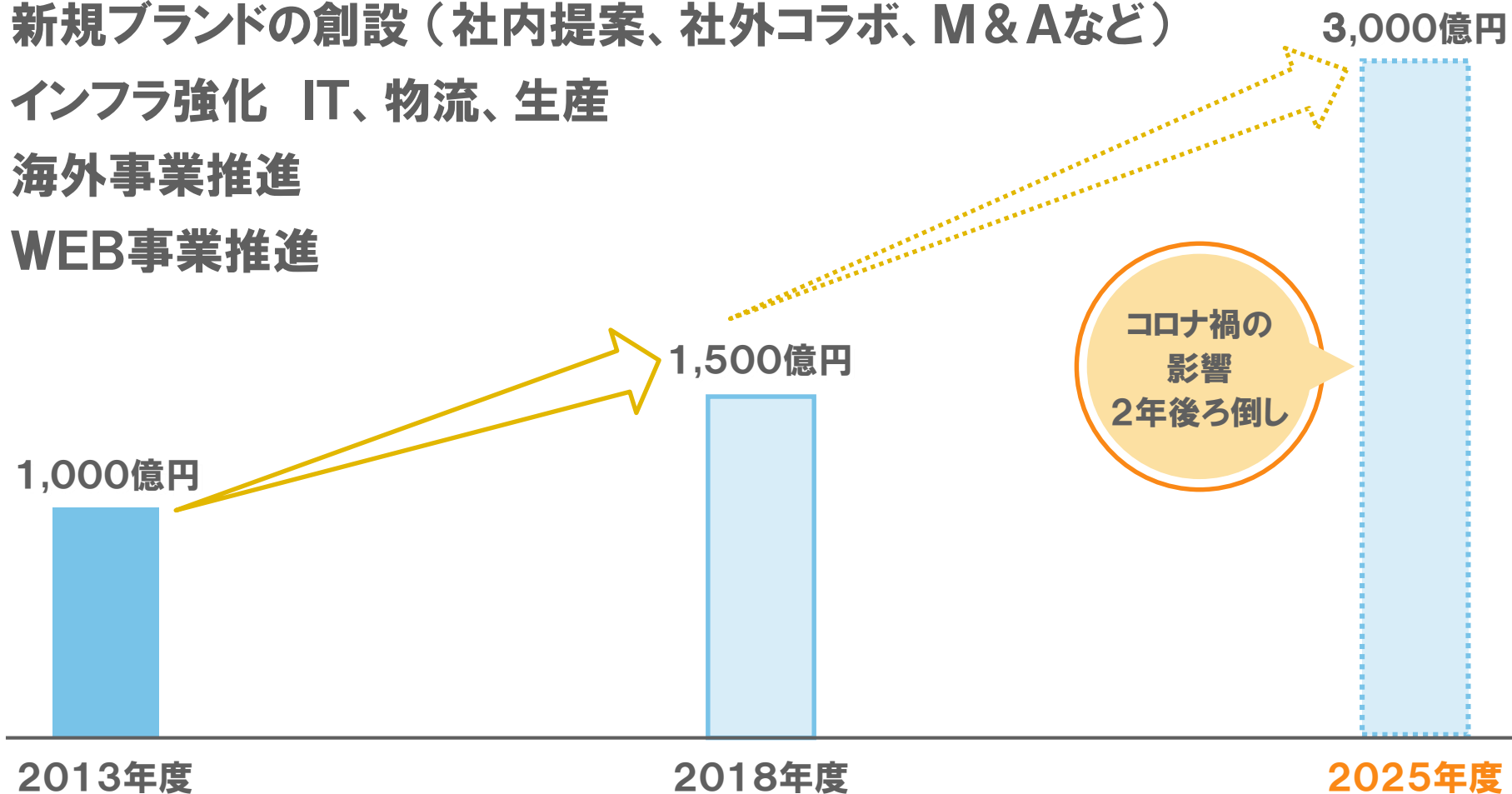
業績推移

PAL GROUP HOLDINGS



事業戦略

- 『パル流』経営のグループ会社への一層の浸透・持株会社体制へ移行
- 新規ブランドの創設（社内提案、社外コラボ、M&Aなど）
- インフラ強化 IT、物流、生産
- 海外事業推進
- WEB事業推進



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

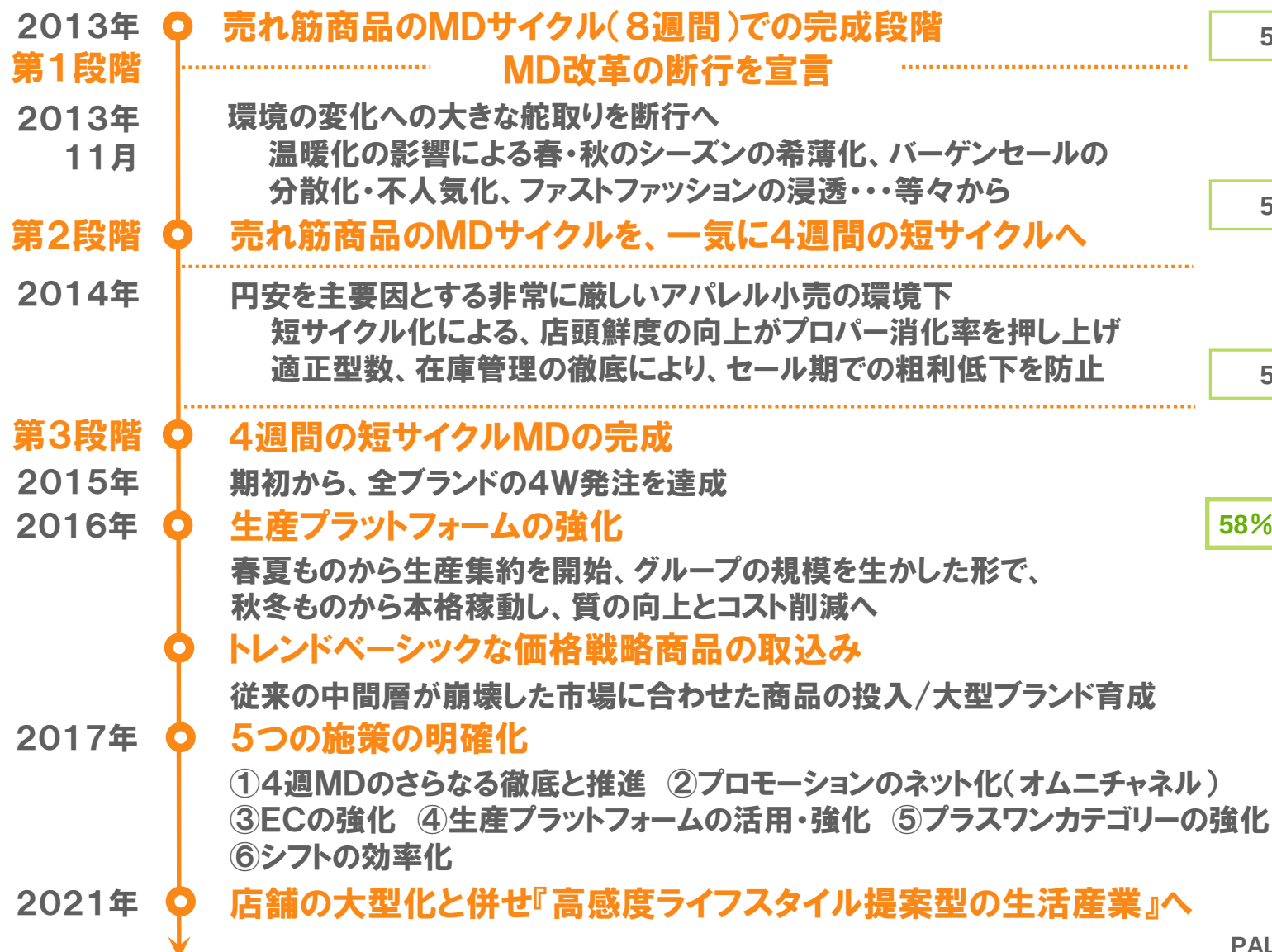
トピックス

1. MD改革の進捗状況
2. EC販売強化
 - 2-①. EC売上高の推移
 - 2-②. PALアプリ会員数の推移
3. サステナビリティへの取り組み
 - 3-①. サステナビリティレポート2023を公開・
価値創造プロセスの定義
 - 3-②. 気候変動への対応・人権方針の制定
4. 3COINSの事業展開
東京原宿に「ポケユニ」一号店オープン
5. 創業50周年を迎え、コーポレートメッセージ策定
及び、コーポレートロゴを一新



1. MD改革の進捗状況

具体的な施策



粗利率

56.5%

54.7%

56.4%

58%を目指す

SPA化率

80%を維持

80%を維持

80%を維持

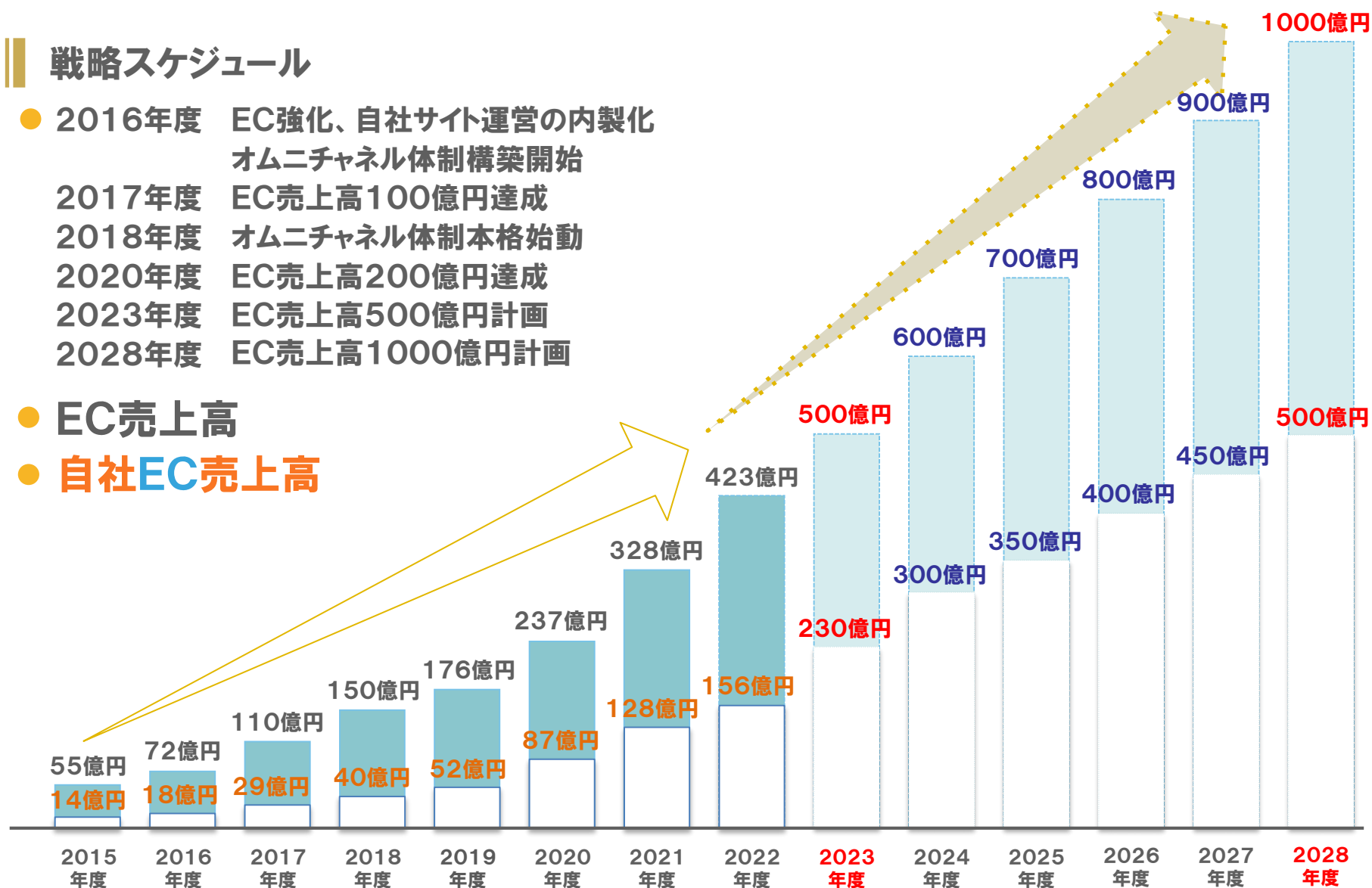
2-①. EC売上高の推移

戦略スケジュール

- 2016年度 EC強化、自社サイト運営の内製化
オムニチャネル体制構築開始
- 2017年度 EC売上高100億円達成
- 2018年度 オムニチャネル体制本格始動
- 2020年度 EC売上高200億円達成
- 2023年度 EC売上高500億円計画
- 2028年度 EC売上高1000億円計画

● EC売上高

● 自社EC売上高



2-②. PALアプリ会員数の推移

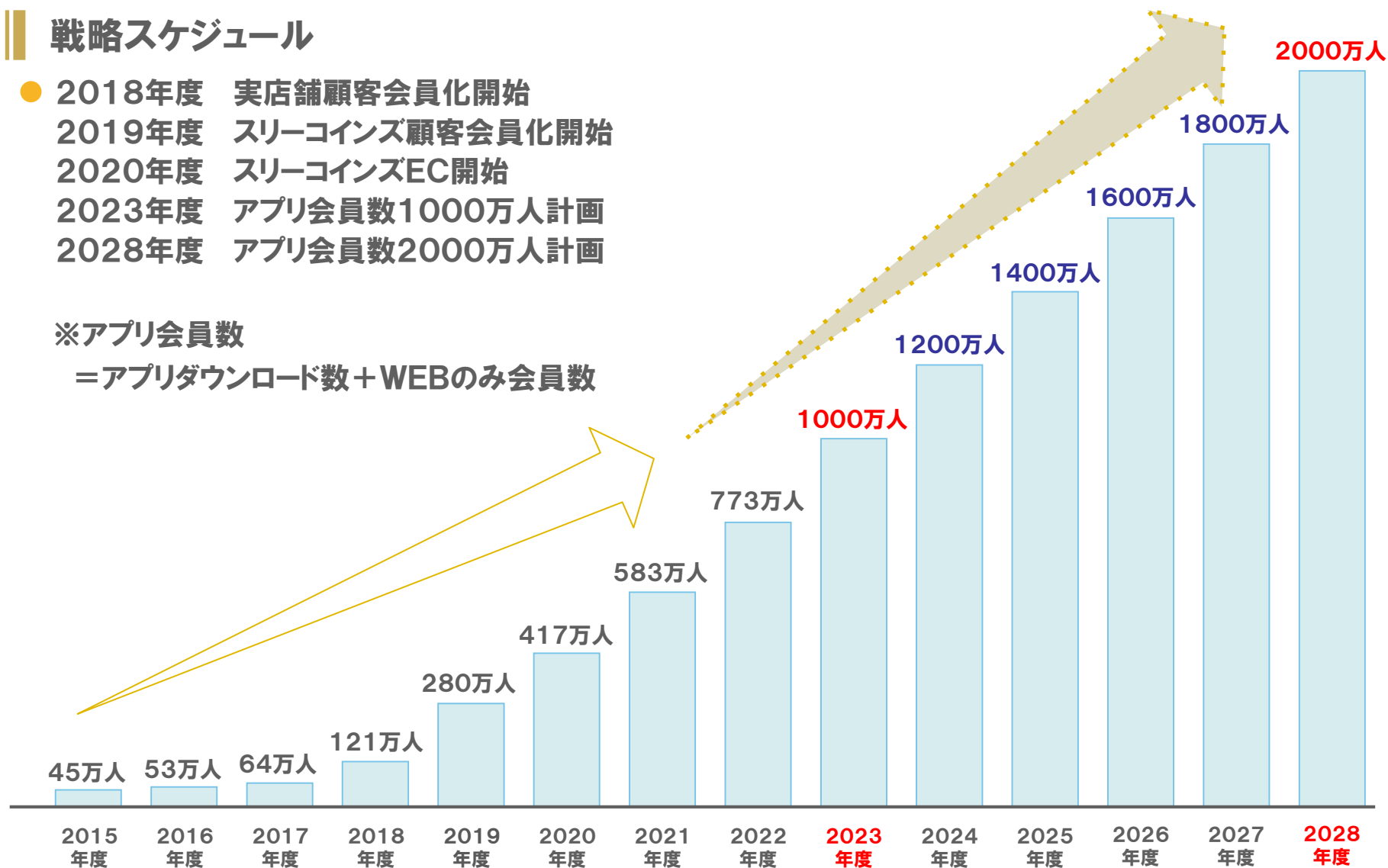
PAL GROUP HOLDINGS

戦略スケジュール

- 2018年度 実店舗顧客会員化開始
- 2019年度 スリーコインズ顧客会員化開始
- 2020年度 スリーコインズEC開始
- 2023年度 アプリ会員数1000万人計画
- 2028年度 アプリ会員数2000万人計画

※アプリ会員数

=アプリダウンロード数+WEBのみ会員数



3-①. サステナビリティレポート2023を公開・価値創造プロセスの定義

PAL GROUP HOLDINGS

サステナビリティレポート2023を公開

2023年版のサステナビリティレポートを3月14日に公開いたしました。お客様、お取引各社、従業員、そして投資家の皆様に向けて、パルグループが考えるサステナビリティ経営の考え方や、具体的な活動内容などをお伝えしております。特に、創立50周年を迎えた今年のレポートでは、創業者である当社の会長のコメントと共に50年を振り返り、今後のサステナビリティ経営への取り組み強化の方針を明らかにしました。



こちらからダウンロードできます

<http://www.palgroup.holdings/sustainability/>

価値創造プロセスの定義

パルグループではサステナビリティ経営が企業の長期的な価値創造の根幹となる経営戦略であると認識しています。当社が持つ比類なき人的資本・知的資本に、強固な財務資本、製造資本などを組み合わせることにより、コアコンピタンスを最大化する価値創造プロセスをストーリーとして、分かりやすく図にすることで定義いたしました。



持続的な成長

3-②.気候変動への対応・人権方針の制定

気候変動への対応

気候関連リスク及び機会は、経営に対し大きな影響を与えるリスクの一つと認識し、全社的なリスクマネジメントプロセスに統合し管理しています。2020年度から算出をしているScope 1, Scope 2のGHG(温室効果ガス)の排出量に加え、2021年度からは新たにScope 3の排出量の算出を開始し、結果を掲載いたしました。

			2020 2019/3 - 2020/2	2021 2020/3 - 2021/2	2022 2021/3 - 2022/2	構成比
Scope 1			1,154	475	599	0.3%
Scope 2			27,311	19,638	20,777	8.1%
Scope 3			－	175,845	225,932	91.6%
上流	Category 1	購入した製品・サービス	－	122,726	155,007	68.6%
	Category 2	資本財	－	5,562	4,796	2.1%
	Category 3	Scope1,2 に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	－	3,117	3,299	1.5%
	Category 4	輸送、配送（上流）	－	15,012	24,207	10.7%
	Category 5	事業活動から出る廃棄物	－	678	812	0.4%
	Category 6	出張	－	583	529	0.2%
	Category 7	雇用者の通勤	－	4,281	4,917	2.2%
	Category 8	リース資産（上流）	－	算定対象外	算定対象外	
下流	Category 9	輸送、配送（下流）	－	算定対象外	算定対象外	
	Category 10	販売した製品の加工	－	算定対象外	算定対象外	
	Category 11	販売した製品の使用	－	算定対象外	算定対象外	
	Category 12	販売した製品の廃棄	－	23,885	32,365	14.3%
	Category 13	リース資産（下流）	－	算定対象外	算定対象外	
	Category 14	フランチャイズ	－	算定対象外	算定対象外	
	Category 15	投資	－	算定対象外	算定対象外	
合計				195,958	246,609	100%

※ GHG プロトコルに基づいて算出

(単位: t-CO₂e)

①対象範囲とカバー率: パルグループホールディングスおよび日本国内の連結会社100%

②範囲境界: 出資比率基準(事業者は対象事業からのGHG排出量をその事業に対する出資比率に従って算定する。)

③排出係数【電力】電気事業者別の排出係数代替値

④Scope 2算定方法: 2020年度: 一部店舗実績をサンプリング調査し、エネルギー使用量を推計、2021年度以降: 全店舗実績から金額ベースで、エネルギー使用量を推計

人権方針の制定

パルグループではこのたび、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に準拠した「パルグループ人権方針」を制定しました。本方針に記載の通り、人権デュー・デリジェンスの取り組み、ステークホルダーとの対話、役員及び従業員に対する人権啓発に努め、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

パルグループ人権方針

1. 人権に対する基本理念と方針

パルグループは「常に新しいファッションライフの提案を通じて社会に貢献」することを社理とし、経営理念である「社員と株主みなさんの幸せのための経営」を掲げ、従業員、顧客、取引先、環境等、地域社会をはじめとする当社にかかわる全てのステークホルダーの価値を高めることを会社の使命としています。パルグループは、人間生活の基本である「衣・食・住」のうち、「衣」(衣料)を主たる事業とするものとして、常に公正な競争を通じて利益を追求するという経済的主体のみならず、広く人々の日常生活にとって有用な存在でありつづけるために、自らの事業活動が人権尊重を前提に成り立っているものでなければならぬと認識しており「ビジネスと人権に関する国連の指導原則」に基づく「パルグループ人権方針」を定めます。

2. 適用範囲

本方針は、パルグループのすべての役員および従業員に適用します。また、パルグループは、自社の施設に関連するビジネスパートナーに対しても、本方針の遵守を求めています。

3. 人権尊重の義務の履行

パルグループは、自らの事業活動が、直接または間接的に人権に影響を及ぼす恐れがあることを認識しており、人権に対する負の影響が生じていることが判明した場合は、その是正に向けて適切に対処していきます。

4. 適用法令等の遵守

パルグループは、事業活動を行うそれぞれの国や地域における法令および規制を遵守します。また、各国の法令等が国際的に認められた人権との間で矛盾がある場合には、国際的な人権原則を最優先とするための方法を求めます。

5. 人権デュー・デリジェンス

パルグループは、主権的にすべてのビジネスパートナーとの関係に求め、サプライチェーンに対する人権デュー・デリジェンスの仕組みづくりに取り組んでいます。

6. 対話・協議

パルグループは、本方針の履行過程において、必要に応じて人権に関する外部の専門知識を活用し、ステークホルダーとの対話と協議を積極に行います。

7. 教育・研修

パルグループは、本方針がすべての事業活動に組み込まれ、定期的に実行されるために、役員及び従業員に対し人権啓発に努めます。

8. 是正・救済

パルグループは、人権に対する負の影響を把握するための通報制度の整備を進め、事業活動によって人権に対する負の影響が引き起こされた場合、あるいは取引関係者などを通じた関与が明らかとなった場合には、適切な手続きを通じてその救済に取り組めます。

9. 報告・情報開示

パルグループは、人権尊重の取り組みの進捗状況およびその結果等の情報をサステナブルレポート等で開示します。

2023年2月14日

株式会社パルグループホールディングス

代表取締役社長

井上 隆夫

4. 「ポケユニ ハラジュク」一号店オープン

PAL GROUP HOLDINGS

世界初のフラッグシップショップが誕生

NBCユニバーサル・エンターテイメントジャパン合同会社の新たなマルチ・キャラクターブランド「ポケユニ/ポケットユニバーサル」を世界独占展開します。世界初のフラッグシップショップ「ポケユニ ハラジュク」を2023年3月24日にオープン。主としてぬいぐるみやファッショングッズなど種類豊富に展開します。「ポケユニ ハラジュク」でしか体験できない、イベントの開催や、トレンドカルチャーの発信地・原宿らしい、SNS投稿にぴったりなフォトスポットも常設。幅広い世代が心動かされるようなショップを展開していきます。4月21日(金)には大阪で「ポケユニ アベノ」がオープン。公式通販サイト「PALCLOSET」も4月6日(木)からスタートします。



5. 創業50周年（株）パル コーポレートロゴを一新

PAL GROUP HOLDINGS

新ロゴはパルの大切に 多様性と活気を表現

本年、創業50周年を迎え、これまで築きあげてきたパルのコーポレートバリュー(価値観)を基に、次の半世紀への挑戦の意味を込めて、コーポレートロゴを一新するとともに、コーポレートメッセージ「PASSIONとLOVE」を設定しました。

新たなロゴは、パルの持つ多様性を○△□で表しています。そして、多様な人材による多様なブランド・事業を生み出すエネルギーを、新たにコーポレートカラーに設定したライブラリーオレンジ(ライブラリー＝活発な、いきいきとした)で示しています。

この新ロゴを、公式オンラインショップ「パルクローゼット」のサイトやアプリのアイコンにも採用することで、お客様とパルとの結びつきを強め、多くの方に親しまれる展開を、これまで以上に図って参ります。



コーポレートメッセージ 「PASSIONとLOVE」

コーポレートメッセージ「PASSIONとLOVE」は、1年以上の時間をかけて社内で議論を続けてきた結果、パルの真ん中になる価値観として選ばれたメッセージです。

「これからも一人ひとりが「PASSIONとLOVE」を持って新たなファッションライフを創造し続ける挑戦者でありたい！」
「「PASSIONとLOVE」を大切に生きる人とともにある企業でありたい！」そんな想いを込めて、個性あふれる多様なブランド・事業・社員に共通する行動指針としていきます。

新たなロゴとともに、このコーポレートメッセージを未来への旗印とし、また我々のコアとして活動していきます。

次の50年も、パルの「PASSIONとLOVE」にご期待ください。



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

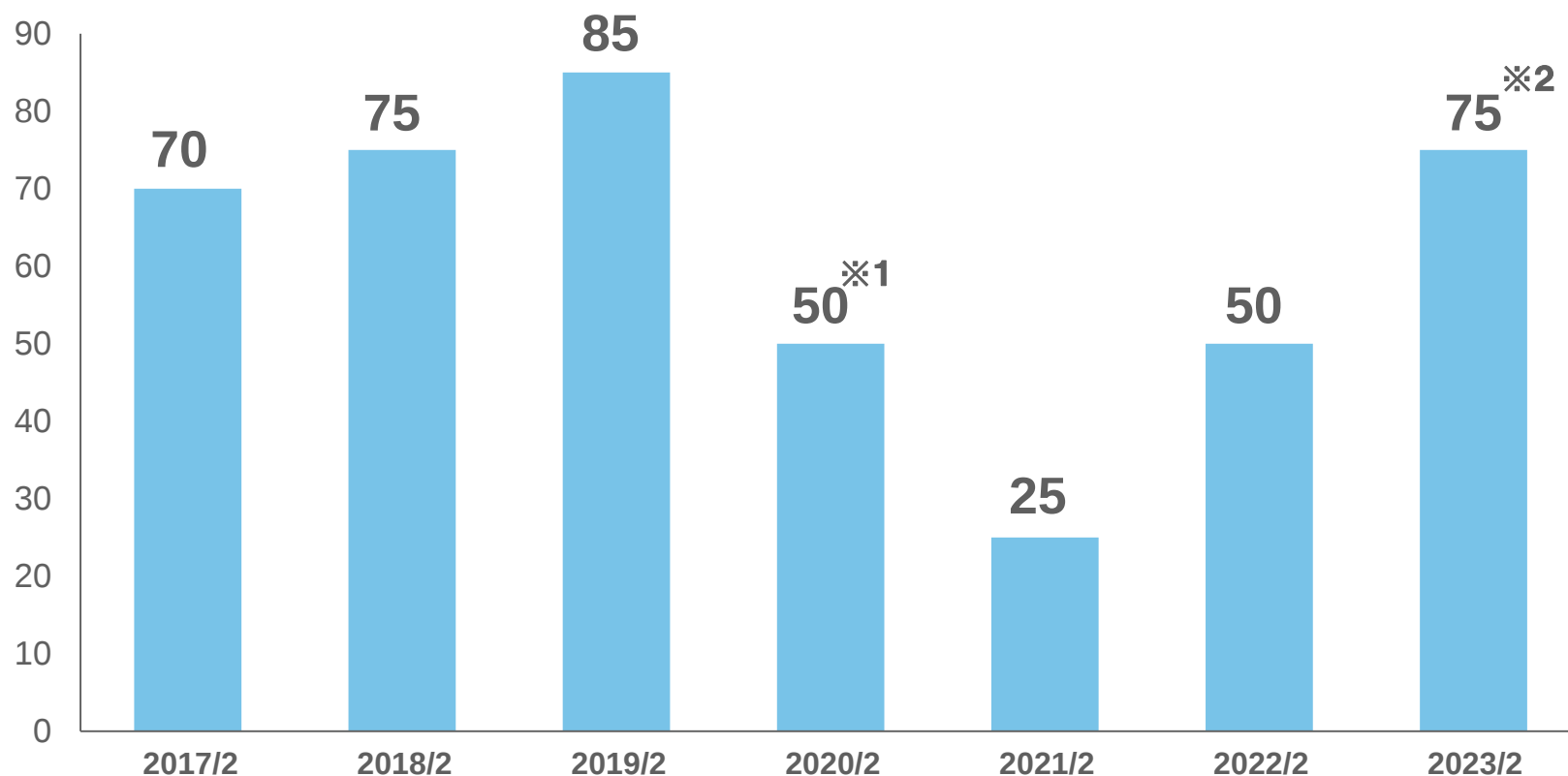
株主様への対応

1. 株主還策について
2. 株主優待制度について



1. 株主還元策について

- 安定配当を継続することを利益還元の基本方針とする
- 当期末の1株当たりの配当は、75円とする(前期比25円増配)



※1 2020年3月1日を効力発生日として、1株を2株にする分割を実施済で、結果として2月期末に1株あたり100円へ増配した配当は、50円へ自動的に変更されました。

※2 75円配当の内訳は、60円の普通配当と、50周年の記念配当が15円

2. 株主優待制度について

『株式の投資魅力を高める目的で、株主優待制度の拡充を決定』

当社株式の投資魅力を高めることで、新規の個人投資家様の拡大へ繋げると共に、中長期の保有を促進することを目的といたしまして、株主優待制度を下記の通り拡充致しました。

優待制度の内容

● 対象となる株主様

毎年2月末日現在の当社株主名簿に記載または記録されている100株（1単位）以上を保有されている株主様を対象といたします。

● 株主優待の内容

保有株式数に応じて、以下の2つの割引優待を選択出来る共通割引優待券を付与することとし、その利用期間は、毎年6月1日から翌年5月31日までとします。

- ① 当社の関係子会社である株式会社フリーゲート白浜が和歌山県西牟婁郡白浜町にて運営する宿泊施設「くろしお想」及び「ホステルのアサ」での宿泊コース料金の50％を割引
- ② 金谷ホテル観光株式会社との提携により、同社が日光・鬼怒川エリアで保有する「鬼怒川温泉ホテル」及び「鬼怒川金谷ホテル」での宿泊コース料金の50％を割引（2023年6月1日より）

● 優待券の付与枚数…株式分割後も変更せず、実質倍増

所有株式数	100株以上	200株以上	500株以上	1,000株以上
付与枚数	2枚	4枚	6枚	10枚



SMILE
IS
POWER.

PAL GROUP HOLDINGS

ESGへの取組み

1. 当社のESGの取組み
2. PALフォレスト事業(Environment)
- 3-①.障がい者雇用(Social)
- 3-②.関西学院大学での寄附講座(Social)
- 3-③.パル井上財団での取組み(Social)
- 4.ジェンダー平等と働き方改革(Governance)



1. 当社のESGの取組み

当社のESGの取組み(Environment Social Governance)は、継続的に利益を上げ、税金を払い、雇用を継続するという企業の日常の活動を通して、『社員と株主みんなの幸せのための経営』という経営理念と、『未来につなげる社会と地球のための経営』の実現に向け、邁進することと考えています。



2. PALフォレスト事業(Environment)

PAL GROUP HOLDINGS

「PALフォレスト事業」の取組み (Environment)

2012年より、世界遺産の奈良吉野の森で、植林活動に取り組んで来ました。日頃使用する包装材の生い立ちに思いを馳せて、毎年多くの社員、家族が参加することで、地球環境の維持の大切さを認識する、貴重な体験を共有しています。



3-①.障がい者雇用(Social)

『障がい者の運営する』全国初のホテル、旅館を全面支援 (Social)

当社は、2011年6月より、障がい者雇用を目的としたホテル『フリーゲート白浜』を運営してきましたが、近隣の宿泊施設を買収し、料理旅館『浜木綿くろしお山荘』として、事業を拡大し、営業を開始しました。

両施設とも、従業員の大半が障がいを抱えており、ホテルや旅館業のようなサービス業での雇用は、全国でも珍しいケースとなっていますが、当社での接客ノウハウを伝えながら、障がいのある人が自分たちで考えて、仕事を完結できるようにしています。



浜木綿くろしお山荘 ▶ www.hamayu-kuroshio.com

3-②.関西学院大学での寄附講座(Social)

PAL GROUP HOLDINGS

関西学院大学、国際学部での寄附講座の取組み (Social)

当社は、2013年から5年間の大阪大学での寄附講座に続き、2019年から、関西学院大学、国際学部での寄附講座を開始いたしました。机上での理論に加え、経営、流通の現場からの講義を通して、将来の人材育成に寄与し続けたいと考えています。



美しい時計台のある関西学院キャンパス



3-③.パル井上財団での取組み（Social）

PAL GROUP HOLDINGS

『公益財団法人パル井上財団』での人材育成①（Social）

当社は、2013年より、創業一族である井上ファミリーとともに『一般財団法人パル井上財団』を設立した後、現在は公益財団としての認定を内閣府より受けて公益事業を行なっております。

具体的には、将来、ファッション業界や関連する分野に貢献しうる有用な人材を育成したいという趣旨から、学業・人物ともに優秀で、経済的理由により修学が困難な学生に対し、奨学金を給付することを目的としています。

現在、約50名の全国の総合大学及び服飾系の大学・専門学校の学生（留学生を含む）に奨学金を給付しています。

『公益財団法人パル井上財団』
Webサイト
トップページ



パル井上財団

3-③.パル井上財団での取組み（Social）

PAL GROUP HOLDINGS

『公益財団法人パル井上財団』での人材育成②（Social）

パル井上財団では、奨学金の給付事業に加え、2018年より、服飾専門学校の流通学科を専攻する学生によるロールプレイ大会を開催する運びとなりました。

『PAL FOUNDATION CUP』と名付けられた大会には、北海道から九州までの多数の服飾専門学校から選抜された学生により、優劣の付け難い内容でのロールプレイングを披露して頂き、今後、ファッションビジネスを目指す学生の目標となる大会にしていきたいと思います。



4.ジェンダー平等と働き方改革(Governance)

PAL GROUP HOLDINGS

徹底した『ジェンダー平等』と『働き方改革』(Governance)

『①ジェンダー平等』

当社には、「働きに応じて平等」という、クリアな人事制度評価上での指針が徹底されており、一人ひとりが、モチベーションの向上と共に、安心して働ける環境が整備されています。

	売上	粗利	人件費	在庫	資金	棚卸	合計	100点換算
第一事業部	396	116	84	71	...	...	...	98
第二事業部	353	78	77	...	...	...	...	86
第三事業部	310	93	...	...	...	...	...	...
第四事業部	378	...	...	...	...	...	...	...
第五事業部	...	...	...	...	...	...	...	...
第六事業部	...	...	...	...	...	...	...	...
第七事業部	...	...	...	...	...	...	...	...
開発事業部	...	...	...	...	...	...	...	...
全社合計	382	82	66	61	...	...	...	85

『②働き方改革』

当社は、1日8時間に捉われないフレキシブルな労働時間の設定を可能にする運用を始め、有給休暇や長期休暇の取得も容易になるなど、メリハリのある職場環境の醸成に努めています。

社 是

「常に新しいファッションライフの
提案を通して社会に貢献」

グループ 経営理念

「社員と株主みんなの
幸せのための経営」

社 名	株式会社 パルグループホールディングス
所 在 地	【本社所在地】 大阪府大阪市中央区道修町3-6-1 京阪神御堂筋ビル10F 【東京本社】 東京都渋谷区神宮前6丁目12-22 秋田ビル4F
代 表 者	井上 隆太
資 本 金	31億8,120万円
設 立	1973年10月
事業内容	婦人服・紳士服・雑貨等の企画・製造及び卸・小売
店 舗 数	927店舗

広報室

TEL 06-6227-0308

FAX 06-6231-1056

本資料に記載されている、計画、戦略、予想などのうち、歴史的事実でない情報は将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

また、本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。